

H30年度動作法集中研修会(第9回月例会)報告

マネージャー : 島村 隆博

サブマネージャー : 出井 一紀

1 日時 : H31.1/12(土)~13(日)

2 場所 : 宮代特別支援学校

3 総合指導 : 久田 信行 先生

4 メンバー構成 :

＜ トレーニー(12名)＞ 稜真君(24才)、弘暉君(24才)、亮君(15才)、隆作さん(41才)、潤さん(38才)、暎菜さん(32才)、桂也君(26才)、大翔君(23才)、稔浩君(20才)、拓海君(21才)、千尋君(11才)、達也さん(36才)、

＜ 班長・トレーナー・サブ(12名) ＞

篠原弥生、菅原恵、西塚裕人、出井一紀、大久保円香、古森美紀、青柳憲充、生川千尋、近藤優樹、和田幸恵、樋口詩織、阿部康明、小澤さつき、寺本成志、小岩友美、松島佑果

5 研修会の経過

＜ねらい＞

今年も、普段の短い月例会での動作法を、二日間かけて集中的に効果を上げることと、トレーナーが動作法の技術を高めることも当然ねらっています。

ただ、今回は、「心理リハビリテーション」が登録商標になったこともあり、動作法だけでなく、それがトレーニーの生活や人とのかかわりにどうつながっているのか、そして保護者との連携、集団活動のマネジメント等も見直してみました。

＜インテーク＞

トレーニー全員を一人15分程度久田先生にインテークしていただきました。あぐら座位での左右の尻の踏みしめや立位での左右の足での踏みしめ等タテの課題で見立て、不必要な緊張をゆるめる。座位での背反らせ等で難しいケースは、側臥位での躯幹ひねりや胸・肩ゆるめ、腰ゆるめ等丁寧なリラクセーション課題が投げかけられました。ゆるめ方については、一方向に動かすだけでなく、“引きゆるめ”という技法が提案されました。

＜動作法の経過＞

今回は、4班編成でした。そのうちの一つの班は、月例会メンバーのトレーナー2名で、班長と話し合いながら動作法をすすめる班でした。その他の班は、経験の浅いトレーナーもいるため、実際に技法の方法を確認するだけでなく、「何のための課題なのか」等毎回の班別ミーティングで動作法の基本を細かく確認していたようです。トレーニーは、月例会ではなかなか到達できない深い課題にとっても熱心に取り組めていて驚きでした。

＜研修を終えて＞

集団、生活、タイムキーパー、受付会計、会場、研修と、トレーナーがいずれかの係りに所属し、班長が各班の動作法だけでなく、係りの運営も指導に当たりました。実技研修では、“ゆるんだことの実感”を求め、その方向や強さをお互いいろいろと工夫している姿が印象的でした。こうした“学び合う姿勢”のお膳立てをしてくださった総合指導の久田先生に感謝いたします。

